



整備されたゆめおーれ広場



夜はライトアップされ、幻想的な雰囲気に包まれています



ゆめおーれ広場には小川が流れ、子どもたちが水に親しむことができます

7月18日(土)オープン!!

はたや記念館 ゆめおーれ勝山

日本の産業近代化の一翼を担った勝山の繊維の歴史を体験できる、まちなか交流拠点「はたや記念館ゆめおーれかつやま」がいよいよ開館します。

往時の建物の雰囲気を活かして、1階のウエルカムゾーン、2階のミュージアムゾーンでそれぞれ、体験や物品販売、実物展示などを行います。



繊維産業史の証人

はたや記念館ゆめおーれ勝山は、勝山の織物製造業の歩みを伝え、その歴史を未来に引き継ぐ施設として、中心市街地を再生する、国の「まちづくり交付金事業」によって平成19年から整備を進め、このたび完成の運びとなりました。

母体となった機業場は明治38年創業以来、平成10年に勝山市が工場用地を取得するまで中堅機業場として操業していました。

同年に建物全体を取り壊す工事が進められましたが、勝山市文化財保護委員会や関係者の努力によって全体の約半分が解体を免れました。

市内に残る最古の工場建築物で、仮眠室や下駄箱などの設備も残っています。

勝山の近代化産業を支えた繊維の歴史を物語る貴重な遺産として、平成18年2月に勝山市有形文化財に指定され、平成19年には経済産業省の近代化産業遺産に登録されました。

まちなか誘客の拠点として

築後100年以上の歴史ある木造建築物であり、将来にわたって保存活用していくため、同じ材質のものを使って大規模な改修を行いました。また、まちなか誘客の拠点として、多くのか

たに来ていただくために耐震補強や防火対策を行い、安全で安心できる建物となっています。平成21年には公募によって施設名称を「はたや記念館ゆめおーれ勝山」とし、オープンを待っていました。

ゆめおーれ勝山では、1階は手織り体験やカフェコーナーなどのおもてなしの空間、2階は糸繰機などを動態展示し勝山の繊維産業の歴史を紹介しています。

市では、本年をまちなか誘客元年として取り組んでおり、この施設がまちなか散策の起点として、さらには、市民と観光客が交流を深める施設として広く利用され、親しまれることを期待しています。